



ゆうあい

学校教育目標：『在りたい自分を創る主人公』

校長ブログ→



2026(R8)年3月9日
豊岡市立豊岡小学校 学校だより
No18 児童数325名

～「つながり」を味わう～

2月下旬から3月上旬にかけて、「つながり」を一層実感させるイベントが行われました。

【体験入学会】2月25日（水）

来年度の入学予定の園児を迎えて、体験入学会を開きました。1年生はとても張り切っていました。顔を覗き込むようにして目を合わせたり、手をつないでトイレへ案内したり・・・。

会が始まると、自分たちが教えてあげたいことを発表していました。「小学校の楽しさが伝わるといいな。」そんな声が聞こえてきました。

お買い物コーナーもありました。1年生がつくったお店屋さんで、手作りの絵カードを売ってくれます。ここでも、1年生が「なにがほしい？」と聞きながら、手をつないでお店を回っていました。

1年生にとっては、年下の友達にたくさん教えられて大満足、園児たちは、あこがれのお兄さんお姉さんに教えてもらって大満足でした。



【6年生を送る会】3月6日（金）

5年生が主体となって、6年生を送る会が開かれました。たくさんお世話になった6年生へ、下級生は精一杯のありがとうを伝えました。

6年生は各学年の発表を聴いていました。一生懸命発表する下級生たちの想いを、笑顔で、そして真剣に受け止めてくれました。

6年生からも各学年へのメッセージと素敵な歌をプレゼントしてくれました。6年生と下級生がいっそうつながる素敵な時間になりました。進行などで引っ張ってくれた5年生も立派でした。

卒業まで残りわずか。子どもたちの気持ちと笑顔がつながり続けますように。みんなで晴れの門出をお祝いしましょう。



いずれの行事も、子どもたちが主体となって、相手を意識しながら気持ちを伝えるイベントとなりました。相手意識と目的意識があるからこそ、子どもは自ら動き出していました。「どうしたら喜んでくれるかな？」と相手のことを想うからこそ、一つ一つの準備やしぐさ、表情に気持ちが込められていました。つながりを支えるのは「自分から（主体性）」「他者がしてほしいことを考えて（コミュニケーション能力）」「粘り強く（自制心）」という非認知能力です。

このように「つながり」とは、力になりたい相手がいること、何かしてあげたい、役に立ちたい、放っておけないと思う心の現れです。この心の在りようは、私たちの心にいつもあります。最も濃いのは「家族」。そして親族や親しい友人、住んでいる地域などです。災害時のボランティアも、この「つながる」心です。

春は別れと出会いの季節。子どもたちにも、日常にある「つながり」を感じてほしいと思っています。

【学校運営協議会グランドデザイン完成】（別紙をご覧ください）

育てたい子ども像「つながりひろがれ！豊小っ子～あいさつ・笑顔・チャレンジ～

今年度、学校運営協議会で、めざす子ども像について議論を重ねました。

- ◆「人と人とのつながりは、世代を超えて大切にしたい。」
- ◆「つながりの中で、自己有用感や自己肯定感の高い子どもに育てほしい。」
- ◆「あいさつはコミュニケーションの入り口。大人からあいさつし、つながる子を育てよう。」
- ◆「笑顔は子ども達の心（内面）の現れ。いつでも子どもの話を聴き、温かく関わろう。」
- ◆「チャレンジは主体性の現れ。どんな小さなチャレンジでも価値を認め励まし支えよう。」

未来へ向かう豊小っ子を、豊小ならではの温かいつながりの中で、たくましくしなやかに人生を歩んでいく子どもに育つよう、学校・家庭・地域一丸となって子どもに関わりましょう。



【下校時刻の変更について】

令和8年度4月から、下校時刻（学校を出発する時刻）が少し早くなります。

	《5校時の時↓》	《6校時の時↓》
月・火・木・金	<u>14：35下校</u>	<u>15：25下校</u>
水	<u>14：20下校</u>	

- （1）子ども達の負担を軽減するための取組です。学期始めや学期終わりなども、数日間給食後に下校する等、子どもの負担軽減を図る教育課程を組みます。
 - （2）放課後の時間を捻出し、子どもに向き合う業務に一層時間を充てます。
- ★防犯ボランティアの皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、なにとぞご理解いただき、引き続き登下校の見守りをお願いいたします。